

# 臨床研究に関する公開情報

## 【研究名】

関節リウマチ患者の予定外入院のリスク因子に関する検討

## 【研究の概要】

この研究は、関節リウマチの患者さんが多くの薬を一度に服用すること(これをポリファーマシーと呼びます)が、予定外の入院を必要とするリスクを高めるかどうかを調べるものです。多くの薬を服用することは、時として様々な問題を引き起こす可能性があります。その一例として、突然の入院が必要となるリスクがあると指摘されています。しかし、突然の入院は、年齢や他の病気、そして治療の内容など、他の要素によっても影響を受けます。これらの要素はまた、多くの薬を服用することとも関わっています。そのため、本研究ではこれらの要素を考慮しながら、関節リウマチの患者さんが多くの薬を服用することが、予期せぬ入院のリスクを高めるのかどうかを詳しく調査します。

## 【対象となる患者様】

2020年9月1日から2020年11月30日の期間内に天理よろづ相談所病院総合内科外来/膠原病外来を受診された関節リウマチ患者さんを対象とします。

## 【研究に使用させていただく診療データ】

年齢・性別、罹病期間、疾患活動性指標、機能障害指標、血液検査値、薬物治療歴、保険情報、2019年9月1日から2021年8月31日までの期間の入院歴の情報

## 【個人情報の取扱と倫理的事項】

データは、氏名、生年月日、住所などを削除し、匿名化した上で解析します。この研究成果は学術誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者様のプライバシーは守られます。なお、この研究は、当院の臨床研究審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

## 【データを利用するものの範囲と管理】

データの取得および解析を行う者は、研究責任者に限られます。データはパスワードが設定されたパソコン内に保管され、施錠された医局で厳重に管理されます。データが院外に提供されることはありません。院外の者が当院内において本研究に従事し、患者情報に接することはありません。

## 【お問い合わせ】

本研究においてご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書やその他の資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも、患者様に不利益が生じることはありません。

**【研究責任者】**

天理よろづ相談所病院 総合内科 三宅 啓史

住所：奈良県天理市三島町200番地

電話：0743-63-5611(大代表)